

未利用等土地の適正化実績

1 年度別適正化実績

【単位：ヘクタール】

年度	当初面積 A	面積補正等 増△減 B	新規発生面積 C	適正化面積				年度末面積 E＝(A+B+C)－D
				D	売却	貸付	事業化等	
R4 (2022)	100.7		6.6	8.4	4.0	1.8	2.6	98.9
R5 (2023)	98.9	△2.1	3.6	8.5	5.0	0.0	3.5	91.9
R6 (2024)	91.9		1.6	6.7	3.0	0.9	2.8	86.8
R7 (2025)	86.8	△15.8	1.1	2.5	1.4	1.9	0.1	69.6
合計		△17.9	12.9	26.1	13.4	4.6	9.0	

- A 当該年度の4月1日時点の面積
- B 集計上の補正が必要な面積
- C 事業の中止や用途の転換・廃止等により、新たに未利用・暫定利用等となった土地の面積
- D 売却や長期貸付のほか、本市の事業等で適正化した面積
- E 当該年度末時点の面積

2 適正化実績・見込み

【単位：ヘクタール】

	累計適正化実績	適正化見込み（目標値）	
	R4(2022)年度から R7(2025)年度末 まで	～R12(2030)年度	～R22(2040)年度
面積	26.1	47.6 (30)	63.9 (60)

3 会計等区分別面積(令和7年度)

【単位：ヘクタール】

会計等区分	分類	当初 面積 A	面積補正等 増△減 B	新規発生 面積 C	適正化 面積 D	年度末 面積 E＝(A+B+C)－D
一般会計 特別会計 (下記会計を除く)	用途廃止等土地	33.2	△13.6	0.2	1.4	18.5
	事業・時期等未定土地	14.3		0.1		14.4
	狭小地等	2.6	△2.2	0.7	△0.1	1.3
公共事業用地費会計	事業・時期等未定土地	31.3			1.0	30.3
	公共事業用代替地	5.4			0.3	5.1
合計		86.8	△15.8	1.1	2.5	69.6

(端数処理の関係により、内訳と合計が一致しない場合があります)

- 用途廃止等土地
- 事業・時期等未定土地
- 公共事業用代替地
- 事業の中止や用途の廃止等により、新たに未利用・暫定利用となった土地
- 事業未定土地及び事業時期が未定の土地
- 公共事業による移転に協力していただいた方へ提供する代替地

4 所在区別面積(令和7年度)

【単位：ヘクタール】

区 (五十音順)	当初 面積 A	面積補正等 増△減 B	新規発生 面積 C	適正化 面積 D	年度末 面積 E＝(A+B+C)－D
青葉	17.4				17.4
旭	10.9				10.9
泉	4.9			0.02	4.9
磯子	3.7		0.18	0.01	3.8
神奈川	1.4				1.4
金沢	6.2			0.25	5.9
港南	5.2	△0.9		△0.87	5.2
港北	1.7		0.03	0.03	1.7
栄	18.0	△14.9			3.2
瀬谷	1.7				1.7
都筑	1.8			0.6	1.2
鶴見	1.8		0.14	0.05	1.9
戸塚	3.0				3.0
中	0.6				0.6
西	1.4				1.4
保土ヶ谷	4.3		0.02	1.3	3.0
緑	1.8				1.8
南	0.9			0.3	0.6
※長期貸付地等	－		0.7	0.7	－
合計	86.8	△15.8	1.1	2.5	69.6

(端数処理の関係により、内訳と合計が一致しない場合があります)

- ※長期貸付地等
- 建物所有を目的とした貸付地及び廃道水路